



<先進地紹介 1>

箱根関所地区 (神奈川県箱根町)

○箱根町の概要

箱根町は、神奈川県の南西部に位置し、江戸時代における東海道の道筋にあたり、かつては宿場町としてたいへん栄え、関所や杉並木をはじめとする多くの歴史的・文化的資源を有した地区です。

○まちづくりの取り組み

観光地として知名度の高いところではありますが、近年観光客の減少が続いたため、「歴史を生かしたにぎわいのあるまちの実現」をめざし、平成10年度より箱根関所の復元を中心とするまちづくり事業を行ってきました。

ここでは、箱根地区におけるさまざまな歴史的・文化的遺産を整備し、旧箱根街道の歴史性ある歩道でそれらを結びつけ、歩行者観光を促進することで活性化を図ることを目的としています。

具体的には、江戸時代の関所修復の記録書や史跡調査による箱根関所の完全復元をはじめ、周辺の関所通り線の電線地中化や建物の意匠の統一などを併せて行うことによって、歴史性あふれる景観整備を目指すことなどです。

また、これらの事業にあたっては、史跡整備を伴うことから、文化庁や国土交通省との連携を図りつつ、一体的に進められてきました。

○箱根関所を訪れた感想

省庁間ほかの連携による整備手法や、「ハード整備をソフト的に活かす」という姿勢は大変参考になりました。

また、地元の方々が観光ガイド、関所内の清掃などの管理に携わっており、地域が一体となったまちづくりがしっかり展開されている印象を受けました。



復元された箱根関所



電線地中化により整備された街並み